

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会議の名称	令和2年度第1回川島町総合教育会議	
開催日時	令和3年2月19日（金）午後1時30分から午後2時30分まで	
開催場所	川島町役場 中会議室	
議 題	(1) 川島町公共施設個別施設計画（案）について (2) 川島町教育大綱（案）の策定について (3) その他	
公開・非公開の別	公 開 ・ 非公開 ・ 一部非公開	
非公開の理由 （非公開の場合のみ）		
出席者	構成員	飯島 和夫町長、中村 正宏教育長、利根川徹教育長職務代理者 今井 茂夫委員、仁宮 牧子委員、磯 賢司委員
	事務局職員	政策推進課：藤間 隆課長・友野 篤司主幹・藤井 幸平主査 教育総務課：石川 勉課長・松本 竹司主幹 生涯学習課：小久保 聡課長・神田 雅貴主幹
配布資料	会議次第	
審議会等の内容・概要		
<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 町長</p> <p>3 議事</p> <p>町 長：本日の会議は公開とします。また、会議録の作成は、発言者の名前を記載せず、要点をまとめて記録し、会議録の署名は、利根川教育長職務代理を指名します。よろしいでしょうか。</p> <p>委 員：異議なし。</p> <p>(1) 川島町公共施設個別施設計画（案）について （川島町公共施設個別施設計画（案）簡易版を用いて担当課長より説明）</p> <p>町 長：担当課長より説明をさせていただきました。全国的な人口減少は避けては通れない状況であり、今回、他市町村と同様にこのような計画を作成しました。全てが計画どおりにいくとは思っていませんが、皆様からご意見をいただきながら少しずつ進</p>		

めていきたいと考えています。計画には廃止や民営化など厳しい言葉が並んでいますが、皆様と知恵を絞ってやっていきたいと思っています。また、学校については、学校規模適正化の基本方針の中で段階的に統合等を示し、今はその途中経過です。

そして、将来的には小中一貫校としていくのが川島町には望ましいと考えています。本計画には反響も大きいところですが、まずは机上に乗せて議論を始めていきたいという思いで、本日は協議事項にあげさせていただきました。ご意見等いただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

委員：人口減少による厳しい状況等は理屈では理解できていても、実際に施設が無くなると地域の方は、やはり複雑な気持ちで感情的になってしまいます。地域の方々へは丁寧な説明をお願いしたいと思います。また、廃止した空き施設は放置せず、旧役場のように、速やかにきれいに整理してほしいと思います。

委員：住民を増やす政策も続けて、今の子供たちが大人になったときも川島町に住み続けたいと思える町であってほしいと思います。20年後、将来人口の予想を違ったものに覆してほしいと期待しています。また、高校生になると町の支援が薄れてしまうという印象があります。それが若者離れにもなっているのではと思いますので、各世代に合った環境づくりをしてほしいと思います。

委員：本計画は財政の面からも意義あるもので、計画による削減効果やLCCの考え方もよくわかりました。一方で、これまで何度か説明をいただきましたが、協議する機会が少ないのではと思います。例えば、小中一貫校の実現については、ハード面とソフト面の両面から協議し、状況に応じて計画の見直しを図っていくことも必要と思います。学校規模適正化計画にも検討を行うとありますので、町、教育委員会、保護者、地域で十分課題を共有していくことが大切だと思います。また、人口増加のための取組についてですが、川島町は都会に近く自然も豊かで好立地という強みがあります。水害時も対応できる住宅を提供して転入者を増やすや、太陽光発電といった自然エネルギーで歳入を増やすなど、長期的な展望に立った政策を併せて進めていくことも必要と感じています。

委員：町制施行50周年を迎える中、明るい未来を感じる計画であってほしいと思います。ピンチはチャンスと捉えて、良いものにしていきましょう。本計画については、町民への説明会を開いていただき、そこでは町の将来の発展に繋がるような、意欲的な意見をぜひ述べてほしいなと思います。次に、町長部局と教育委員会の一層の連携、一体化が必要だと思います。例えば小中一貫教育については協議会を立ち上げ、積

み上げた議論をしています。子供たちが減少していくなか、何とかしなくてはいけないと地域住民は期待している部分もあります。令和4年度までに研究の成果や結果をまとめて次の段階にいきたいと考えています。町長部局、教育委員会が一緒になって説明をしていただくなど一体となって、町民の学びや地域コミュニティを活発にしていき、小さい町ではありますが良い町になってほしいと思います。

町長：ご意見いただきありがとうございます。現在策定中の第6次総合振興計画の中でもお示ししていきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

## (2) 川島町教育大綱(案)の策定について

(川島町教育大綱(案)を用いて担当課長より説明)

委員：教育は10年先、20年先を見ることになると思いますが、グローバル化や価値観の多様化などに加え、新型コロナウイルスという新しい問題が起こり、ますます人と人の繋がり、絆というものが重要になっていくと思います。また、国が進めているGIGAスクール構想はチャンスでもあるので、端末を学校が持て余すようなことはないよう、力を入れて取り組んでほしいと思います。また、子供を育てるのは学校だけではなく、地域と家庭も重要です。子供たち一人ひとりが普段どのような生活をしているのかを学校には把握してほしいと思います。また、交通量の多い通学路の対応など町のバックアップもお願いしたいと思います。

委員：子供たちは生活の大半を学校で過ごしており、先生からいろいろなことを吸収しています。先生の指導が子供たちにとって一番大切ですので、先生の指導力の向上を求めます。また、子供の頃に地域で経験し、楽しかったことは、将来自分の子供にも経験させてあげたいと考えるものです。そのことが、町に残り、定住にも繋がると思います。ぜひ明るい未来を目指してほしいと期待しています。

委員：大綱に記載の“最大の教育環境である教師が学び合い、高め合うことで、資質・能力の向上を図る”ためには研修という形式ではなく、教師が自ら学び、高めたいかなくては改善が見込めないと思います。そういったことを意識しながら現場で改善できるようになればよいと感じています。

委員：素晴らしい教育の基本理念ができたと思っています。先生が日々研鑽していかなければ子供たちは伸びていきません。また、大綱の基本目標(5)に自然災害とありますが、有事の際、高齢者は動けないこともあるので、中学生が自主防災組織活動に入り、若き人材として活躍してほしいと思います。社会勉強にもなるので、高校

生、大学生となっても活動を地域で続け、そして区長、民生委員、自主防災会長らと一緒に地域で活動してもらえたらと思います。地元で育った子供は、いつかは地元に戻ってきてほしいです。また、伝統文化の継承など、町長部局と教育委員会で連携した取組を図り、子供たちを立派に育てていきたいと思っています。

町長：ご意見をいただきありがとうございます。中学生への防災教育はぜひ進めたいと思います。町も高齢者全員を直ちに助けに行くことはできません。例えば水害の危険がある時、中学生が学校で学んだ防災のことを活かし、祖父母に避難を促すようなことができればと思います。

短時間の会議ではありますが、このようなかたちで大綱を定め、進めていくことにご理解をいただき、決定としたいのですがよろしいでしょうか、

委員：異議なし

町長：本日いただいた貴重な意見は各担当課でよく整理をし、教育委員会と一体となって町の教育や地域の安心づくりなどに努めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

教育長：教育委員会と町は一つです。ワンチームでこの町をより良くしていくために、教育行政に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

4 閉会 教育長

署

名

利根川 徹